

令和9年度

岩手大学大学院教育学研究科

教職実践専攻〔教職大学院〕 (専門職学位課程)

学生募集要項

一般入試
現職教員入試

日程表

第1期募集	出願資格事前審査書類受付期間(注)	令和8年7月14日(火)～7月16日(木)
	出願受付期間	令和8年8月19日(水)～8月21日(金)
	試験日	令和8年9月26日(土)
	合格発表	令和8年10月8日(木)
第2期募集	出願資格事前審査書類受付期間(注)	令和8年10月21日(水)～10月23日(金)
	出願受付期間	令和8年12月2日(水)～12月4日(金)
	試験日	令和9年1月26日(火)
	合格発表	令和9年2月12日(金)

(注) 出願資格事前審査は、該当者のみ必要となります。出願に先立って、自身の該当する出願資格(3, 4ページ参照)を必ず確認してください。

岩手大学

目 次

I	教育学研究科(専門職学位課程)アドミッション・ポリシー …	1
II	入学者選抜方法等……………	3
1	募集人員……………	3
2	出願資格……………	3
3	出願手続……………	4
4	入学者選抜方法等……………	6
5	合格者の発表……………	7
6	欠員の補充方法……………	8
7	試験問題及び試験成績の開示……………	8
8	入学手続等の概要……………	8
9	長期履修制度……………	9
III	個別の出願資格審査……………	10
IV	個人情報の取り扱い……………	12
V	障がい等を有する入学志願者との事前相談……………	12
VI	電算処理カードの記入要領及び記入例……………	14
VII	教育活動・実践履歴書の記入要領及び記入例……………	16
VIII	教育学研究科(専門職学位課程)案内……………	17
IX	実習に関する留意事項について……………	20

I 教育学研究科（専門職学位課程）アドミッション・ポリシー

1 人材育成目的

教育学研究科教職実践専攻（教職大学院）は、学校教育に関する「理論と実践の融合」の理想を掲げ、これからの学校教育をリードする専門的力量を備えた管理職及びミドルリーダー教員を養成するとともに、新しい学校づくりの有力な担い手となる新人教員の養成を目的としています。

2 入学者に求める資質

(1) 学卒院生

① 知識・技能・理解

- (i) 総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている人
- (ii) 学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている人
- (iii) 取得する教員免許状に係る指導内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている人
- (iv) 専攻する学問分野の専門的知識を身につけている人
- (v) 学習指導力及び生活指導等のための基礎的な技能を身につけている人
- (vi) 数理・データサイエンス・AI（MDA）に関する基礎的な知識・技能とICT活用指導に関する基礎的な知識・技能を身につけている人

② 思考力・判断力・表現力

- (i) 学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている人
- (ii) 専攻する学問分野の探究的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている人
- (iii) ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる人

③ 関心・意欲

- (i) 学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている人
- (ii) MDA、DX等に強い関心を持ち、それらを学校教育において活用することによって学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている人

④ 主体性・協働性

- (i) 学校教育に対する強い使命感と責任感を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている人
- (ii) 社会におけるMDA、DX等の活用の意義や必要性を理解し、それらについて自ら学び続けるとともに、学校教育において活用しようとする態度を身につけている人

(2) 現職院生

① 知識・技能・理解

- (i) 総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている人
- (ii) 学校教育及び子どもに関する実践的な知識を身につけている人
- (iii) 取得する教員免許状に係る指導内容及び指導法に関する実践的な知識を身につけている人
- (iv) 専攻する学問分野の専門的知識を身につけている人
- (v) 学習指導力及び生活指導等のための実践的な技能を身につけている人
- (vi) MDAに関する基礎的な知識・技能とICTを活用した実践的な指導力を身につけている人

② 思考力・判断力・表現力

- (i) 学校教育に関する総合的な知識と実践を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている人

- (ii) 専攻する学問分野の探究的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている人
- (iii) ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる人
- ③ 関心・意欲
 - (i) 学校教育現場が抱える諸問題とその解決に強い関心を有しており、将来的には管理職として学校運営のリーダーシップを発揮しようとする、あるいは、ミドルリーダーとして学校の教育活動の中核的役割を果たそうとする強い意欲と資質を有する人
 - (ii) MDA、DX等に強い関心を持ち、将来的に管理職やミドルリーダーとして、それらを活用して学校教育現場が抱える諸問題の解決を図ろうとする意欲を持っている人
- ④ 主体性・協働性
 - (i) 学校教育に対する強い使命感と責任感を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている人
 - (ii) 社会におけるMDA、DX等の活用の意義や必要性を理解し、それらについて自ら学び続けるとともに、学校教育において活用しようとする態度を身につけている人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

大学院において専門的な教育実践研究に従事していくため、専門分野に関する基礎的な知識を修得していること。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 一般入試

筆記試験では、「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、口頭試問では、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。また、出願書類では、「知識・技能・理解」を評価します。

(2) 現職教員入試

口頭試問では、「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。また、出願書類では、「知識・技能・理解」、「主体性・協働性」を評価します。

入学者選抜試験の検査方法と評価要素

該当入試区分	入学者選抜方法	知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲	主体性・協働性	備考
一般入試	筆記試験	○	○			
	口頭試問		○	○	○	
	出願書類	○				※1
現職教員入試	口頭試問	○	○	○	○	
	出願書類	○			○	※2

※1 一般入試は、「学修・研究の構想レポート」、「成績証明書」を提出。

※2 現職教員入試は、「学修・研究の構想レポート」、「教育活動・実践履歴書」を提出。

Ⅱ 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、「一般入試」及び「現職教員入試」の方法（6ページ「4 入学者選抜方法等」参照）により行います。

なお、「現職教員入試」の対象となる現職教員とは、現に教職にある者又は教育関係機関の職員であって、原則として出願時に中堅教諭等資質向上研修（教育公務員特例法第24条）又はこれと同等の研修を修了した者で、岩手県教育委員会から派遣予定の者としします。

1 募集人員

専攻名	選抜区分	募集人員	
		第1期	第2期
教職実践専攻	一般入試	8名	若干名
	現職教員入試	8名	若干名
合計		16名	若干名

※ 本研究科では、一般入試、現職教員入試において、第1期及び第2期の2回学生募集を行います。第1期及び第2期の両方に出願することもできますが、その際はそれぞれ所定の期間に出願書類（検定料を含みます。）を提出する必要があります。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者（令和9年3月までに該当する見込みの者を含む）で、かつ、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に定める小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭の普通免許状（一種）のいずれかを有する者（令和9年3月までに取得見込みの者を含む）

※ ただし、一般入試を受験する者で入学後に特別支援教育力開発・DX.Eプログラムの選択を希望する者は、特別支援学校教諭の普通免許状（一種または二種）を有すること（令和9年3月までに取得見込みを含む）。現職教員入試を受験する者で入学後に特別支援教育力開発・DX.Eプログラムの選択を希望する者は、特別支援学校教諭の普通免許状（一種または二種）を有すること（令和9年3月までに取得見込みを含む）が望ましい（入学後のプログラムの内容については17ページ「2 プログラム内容」参照）。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外

国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、我が国において、外国の大学の課程を有するものとして文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号（大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定））
- (9) 以下の基準のいずれかを満たし、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ① 学校教育法第83条第1項に定める大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達するもの（平成17年4月1日以前に出生した者）
- ※1 「現職教員入試」の対象となる現職教員とは、現に教職にある者又は教育関係機関の職員であって、原則として出願時に中堅教諭等資質向上研修（教育公務員特例法第24条）又はこれと同等の研修を修了した者で、岩手県教育委員会から派遣予定の者とします。
- ※2 大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了し、出願資格(6)に該当しない者は、(10)の個別の出願資格審査の対象となります。
- ※3 (9)又は(10)で出願しようとする者は、出願資格を事前に審査しますので、10ページ「Ⅲ 個別の出願資格審査」を参照してください。

3 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、(4)の出願書類等を取りそろえ、郵送又は持参により提出してください。

なお、郵送する場合は、必ず**速達書留**とし、封筒の表に「**大学院教育学研究科出願書類等在中**」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎019-621-6064

(3) 出願受付期間

第1期募集	令和8年8月19日（水）から8月21日（金）まで【必着】
第2期募集	令和8年12月2日（水）から12月4日（金）まで【必着】

※ 持参の場合、受付時間は9時から16時までです。

(4) 出願書類等

書類等の名称	提出該当者	摘 要
入学志願票	全 員	・ 所定の用紙に必要事項を記入してください。
電算処理カード	全 員	・ 14ページ以降の記入要領及び記入例をよく読み、記入してください。 ・ 電算処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
写真票・ 受験票・ 入学検定料 納入確認票	全 員	・ 写真票には、写真（縦4cm×横3cm）を貼ってください。 ・ 太線枠内に必要事項を記入してください。 ・ 検定料30,000円（非課税） を同封している本学所定の「払込取扱票」を使用し、 必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください。 （別途払込手数料がかかります。ATMは利用しないでください。） ・ 払込後、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄に貼ってください。 ・ 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 ・ 現職教員入試（岩手県教育委員会派遣予定）の志願者は、検定料の払い込みは不要です。 ・ 日本国政府から奨学金が支給されている外国人留学生は、検定料を徴収しませんので、「国費外国人留学生証明書」を添付してください。
教育職員免許状 授与証明書等	全 員	・ 免許状を授与した都道府県教育委員会が作成した「教育職員免許状授与証明書」又は「教育職員免許状の写し」を提出してください。 ・ 「 教育職員免許状の写し 」を提出する場合は、 原本と相違ない旨の所属長又は所轄長の証明を要します。 ・ 令和9年3月までに取得見込みの者は、出身学校長等が作成し、厳封した取得見込み証明書を提出してください。ただし、証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。
卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	全 員	・ 出身学校長等が作成し、厳封したもの。 ただし、証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。
学士の学位授与 (申請)証明書	出願資格(2) の 該 当 者	・ 次のいずれかを提出してください。 ① 学位授与証明書 ② 学位授与申請受理証明書又は「大学改革支援・学位授与機構に学位授与の申請(予定)をしている」旨が明記されている証明書(様式任意)で、出身学校長等が作成したもの。
成績証明書	一 般 入 試 志 願 者	・ 出身学校長等が作成し、厳封したもの。 ただし、証明書自動発行機で発行されるものは厳封の必要はありません。
学修・研究の 構想レポート	全 員	・ 所定の用紙に必要事項を記入してください。
教育活動・ 実践履歴書	現職教員入試 志 願 者	・ 16ページの記入要領及び記入例をよく読み、所定の用紙に必要事項を記入してください。なお、記入した論文、著書、研究報告、作品、レポート等は別刷又は写しを添付してください。
住 民 票	外 国 人 志 願 者	・ 外国人志願者は、住民票（在留資格が明示され、マイナンバーの記載がないもの）を提出してください。なお、日本国外在住者は、パスポート（旅券）の志願者本人を確認できるページの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のいずれかを提出してください。

受験票送付用封筒	全 員	・所定の封筒にあて先を明記し、 410円分の切手（速達料金） を貼ってください。
ラベル票	全 員	・所定の用紙に必要事項を記入してください。
その他の書類	該 当 者	・個別の出願資格審査で認定を受けた者は、認定書の写しを提出してください。 ・検定料免除を申請する者は、検定料免除申請書と必要な書類をそろえて提出してください。

※ 1 外国語で書かれた証明書、文書等には必ず日本語訳を添付してください。

※ 2 婚姻等により氏名が変わっている場合は、理由を記載したメモを添付してください。

※ 3 各種証明書は原本を提出してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 受理された出願書類の返還及び記載事項の変更は認めません。
- ② 出願書類に不備のあるものは受理しませんので、記載事項に記入もれ、誤記入等のないよう十分注意してください。
- ③ 出願後、連絡先等に変更があった場合は、速やかに連絡してください。
- ④ 出願書類に虚偽があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(6) 検定料免除

岩手大学では災害救助法適用の災害により災害救助法適用地域において被災した方が、経済的な理由により大学院進学を断念することがないように、検定料について免除措置を行います。出願手続きの際に一緒に申請手続きを行ってください。

申請手続等の詳細については、岩手大学ウェブサイト (<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html>) で確認してください。

4 入学者選抜方法等

(1) 選抜方法及び配点

入学者の選抜は、筆記試験、口頭試問、出願書類審査（学修・研究の構想レポート、教育活動・実践履歴書及び出身学校等から提出される成績証明書）の結果を総合して判定します。

試験科目等		選抜区分			
		一般入試	現職教員入試		
筆記試験		○	150	×	
口頭試問		○	150	○	200
出願書類	学修・研究の構想レポート	○	100	○	200
	教育活動・実践履歴書	×		○	
	成績証明書	○		×	
総点			400		400

※ 各欄の○印は該当することを、×印は該当しないことを表します。

(2) 試験日時・試験場

	期 日	時 間	科 目	試 験 場
第1期募集	令和8年9月26日(土)	10:00~11:30	筆記試験	岩手大学教育学部
		13:00~	口頭試問	
第2期募集	令和9年1月26日(火)	10:00~11:30	筆記試験	
		13:00~	口頭試問	

※ 試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、筆記試験の試験時間の延長は行いません。

(3) 集合時間等(第1期募集, 第2期募集共通)

選抜区分	集合時間	受付場所
一般入試	9:00~9:45の間	教育学部1号館
現職教員入試	12:00~12:45の間	

(4) 受験上の注意

- ① 大規模災害等, 不測の事態が発生した場合, 「4 入学者選抜方法等」で示した内容を変更することがあります。なお, 不測の事態が発生した場合, 入学試験の実施に関する情報提供は岩手大学ウェブサイト (<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html>) 等により行います。
- ② 自然災害, 悪天候等により, 指示された時刻までに試験場に到着できない場合は, 岩手大学学務部入試課 (☎019-621-6064) まで連絡してください。
- ③ 試験期間中は必ず「岩手大学大学院受験票」を携帯し, 係員の請求があった場合は, これを提示してください。
- ④ 試験開始時刻に遅刻した場合は, 係員の指示に従ってください。
- ⑤ 昼食は各自で用意し, 試験室等で食事をしてください。
- ⑥ 携帯電話, スマートフォン, 音楽プレーヤーなどの音の出る機器は, 必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。また, 時計のアラーム, 時報, 目覚まし音等の設定についても, 必ず解除しておいてください。
- ⑦ 受験時には, 携帯電話, スマートフォン, ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等), 電子辞書, ICレコーダー等の電子機器類の使用を認めませんので, 必ず電源を切ってください。試験時間中に, これらをカバン等にしまわず身につけていたり手に持っていたりすると, 不正行為となることがあります。
- ⑧ 試験場で不正行為を行った者や, 監督者の指示に従わない者には退場を命じ, 受験結果を全て無効とします。

5 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに, 合格者の受験番号を次により発表します。

	日 時	発 表 方 法
第1期募集	令和8年10月8日(木) 13時	岩手大学ウェブサイト (https://www.iwate-u.ac.jp/)
第2期募集	令和9年2月12日(金) 15時	

※ 合否の問い合わせには, 一切応じません。

6 欠員の補充方法

合格者の入学辞退などにより入学定員に欠員が生じる見込みとなった場合は、追加して合格者を決定することがあります。

この合格者の決定は、追加合格候補者となった受験者に連絡し、入学する意志を確認した者について行います。

なお、追加合格候補者についての公表は行いません。

① 連絡・確認の時期

第1期募集に係る追加合格：令和8年11月2日（月）から令和8年12月1日（火）まで

第2期募集に係る追加合格：令和9年3月16日（火）から令和9年3月26日（金）まで

② 連絡・確認の方法

電話により、本人あて（入学志願票の「合格通知を受け取る住所」の電話番号）に行きます。

本人に連絡・確認ができなかった場合は、入学の意志がないものとして取り扱うことがありますので、ご注意ください。

※ 追加合格に関する問い合わせには、一切応じません。

7 試験問題及び試験成績の開示

過去2年の間に出题された教育学研究科の試験問題を公表しています。

また、令和9年度入試の試験成績を次のとおり開示します。

① 開示の対象者：受験者本人に限ります。

② 開示の期間：令和9年5月6日（木）から令和9年5月31日（月）まで

ただし、月曜日から金曜日（祝日を除きます。）の9時から16時までに限ります。

③ 開示請求の手続：開示の期間中に本学の受験票を入試課の窓口に掲示してください。

④ 開示の内容：請求者の筆記試験、口頭試問及び出願書類審査の成績

⑤ 開示の方法：閲覧によります。

詳しくは岩手大学学務部入試課へ問い合わせてください。

8 入学手続等の概要

入学手続等の概要は次のとおりです。なお、詳細については、合格者に送付する入学手続関係書類で指示します。

(1) 大学納付金（登録番号 T6400005002202 国立大学法人 岩手大学）

入 学 料	282,000 円（予定額）非課税
授 業 料	年額 535,800 円（予定額）非課税

注1）上記納付金は予定額であり、入学時及び在学中に納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

注2）国費（日本国政府）外国人留学生の入学料及び授業料は不要です。

(2) 大学納付金及び学生教育研究災害傷害保険料等の納付方法並びに入学料、授業料免除の申請方法及び必要書類については、合格者に別途通知します。

9 長期履修制度

本研究科では、職業を有しているなどの事情（注1）によって、標準修業年限である2年を超えて、一定の期間（最長4年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することを願い出た者には、審査のうえ許可することがあります。

この制度の適用学生の授業料総額は、標準修業年限（2年）で修了する学生が納める授業料総額と同額となります。

なお、この制度の申請方法等は、合格者に別途通知します。

注1) 該当者：① 職業を有している者

(1日8時間週3日以上又は1日4時間週4日以上の勤務者で6月以上の継続雇用者)

② 家事従事者又は育児にあたっている者

③ 前各号に該当しないが本人の収入で生計を維持している者

④ その他、本研究科が適当と認める者

注2) 長期履修学生のための特別なカリキュラムは、原則として用意しません。

詳細については、岩手大学学務部学務課（☎019-621-6077）にお問い合わせください。

Ⅲ 個別の出願資格審査

「Ⅱ 入学者選抜方法等」「2 出願資格」の(9)、(10)により出願しようとする者については、次のとおり事前審査を行います。

1 「2 出願資格」の(9)①に該当する者

(1) 「2 出願資格」の(9)①に該当する者は、次の条件を満たすものとします。

① 在学期間

令和9年3月末において、大学在学期間が3年に達すること。

なお、休学した期間は、在学期間に含まれません。

② 出願時における修得単位及び学業成績

ア 在籍大学において、定められた卒業要件単位数の5分の4以上の単位を修得した者又は修得見込みの者

イ 修得単位の10分の9以上が点数評価に換算し、100分の80以上の成績を得た者

(2) 上記(1)の条件を満たす者は、出願に先立って次の書類を提出してください。

① 出願資格認定申請書（所定の用紙）

② 出身大学の在学証明書又は在学期間証明書（入学年月日が記載されているもの）

③ 成績証明書（厳封されたもの）

④ 履修基準が分かる書類

⑤ その他（必要により提出を求める書類）

※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。

(3) 注意事項

① 入学試験に合格した後、令和9年3月末までに上記(1)の条件を満たさないことが確定した場合は、入学を許可しません。

② 本出願資格により入学する場合は、学部学生の身分を有することができず、学部を退学して大学院に入学することとなります。よって、大学の学部卒業を要件としている各種の資格試験は、受験できなくなります。

2 「2 出願資格」の(9)②、③及び④に該当する者

(1) 「2 出願資格」の(9)②、③及び④に該当する者は、次の条件を満たすものとします。

① 出願時における修得単位及び学業成績

ア 在籍大学において、定められた卒業要件単位数の5分の4以上の単位を修得した者又は修得見込みの者

イ 修得単位の10分の9以上が点数評価に換算し、100分の80以上の成績を得た者

(2) 上記(1)の条件を満たす者は、出願に先立って次の書類を提出してください。

① 出願資格認定申請書（所定の用紙）

② 出身大学の在学証明書又は在学期間証明書（入学年月日が記載されているもの）

③ 成績証明書（厳封されたもの）

④ 履修基準が分かる書類

⑤ その他（必要により提出を求める書類）

※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。

(3) 注意事項

入学試験に合格した後、令和9年3月末までに上記の条件(1)を満たさないことが確定した場合は、入学を許可しません。

- 3 「2 出願資格」の(10)に該当する者は、主に短期大学、高等専門学校、専修学校の卒業者等、大学の卒業資格を有していない者及び大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了し、出願資格(6)に該当しない者です。

なお、大学教育修了までの学校教育の課程が16年に満たない国において大学教育を修了し、出願資格(6)に該当しない者については、大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは国立大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として相当期間（おおむね1年以上とする。）研究に従事しており、令和9年3月31日までに22歳に達する者とします。

この資格で出願しようとする者は、出願に先立って次の書類を提出してください。

- ① 出願資格認定申請書（所定の用紙）
- ② 出身大学又は出身学校の卒業証明書
- ③ 成績証明書（厳封されたもの）
- ④ 研究歴を証明する証明書又は在職証明書（勤務先の所属長等が作成したもの。様式任意）
- ⑤ その他（必要により提出を求める書類）

※ 出願資格認定申請書は、岩手大学学務部入試課まで請求してください。

4 提出期間等

郵送又は持参により提出してください。

なお、郵送する場合は、必ず**速達書留**とし、封筒の表に「大学院教育学研究科出願資格認定申請書類在**中**」と朱書きしてください。

(1) 提出期間

第1期募集：令和8年7月14日（火）から7月16日（木）まで【必着】

第2期募集：令和8年10月21日（水）から10月23日（金）まで【必着】

持参の場合、受付時間は9時から16時までです。

(2) 提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎019-621-6064

(3) 審査結果

審査結果は、第1期募集は8月7日（金）まで、第2期募集は11月13日（金）までに本人あてに通知します。

認定された場合は、所定の期間内に出願手続を行ってください。

Ⅳ 個人情報の取り扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「岩手大学個人情報管理規則」に基づいて取り扱います。

1. 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④学生支援関係業務（奨学金案内・申請、学生寮案内等）、⑤研究生の修了等の手続き（岩手大学研究生に在籍している方のみ）を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。

ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

4. 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

Ⅴ 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、「事前相談について」（次ページ様式参照）を提出してください。

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合があります。

(1) 提出期間

第1期募集：令和8年7月14日（火）から7月16日（木）まで【必着】

第2期募集：令和8年10月21日（水）から10月23日（金）まで【必着】

(2) 提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

☎019-621-6064

年 月 日

岩手大学長 殿

氏 名
(志願者との関係)
住 所
電 話 — —

事前相談について

下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。

記

1 志願者氏名等

ふりがな 氏 名	男・女	生年月日	西暦	年	月	日生
現住所	〒 —	電話	—	—		
出身学校名		電話	—	—		

2 志望研究科等名

研究科・専攻	研究科	専攻
--------	-----	----

3 障がいの種類・程度

4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容

5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容

6 出身学校在学中にとられていた特別な配慮

7 日常生活の状況

8 添付書類

- (1) 医師の診断書
- (2) その他

注 1 出身学校関係者等が記入願います。

注 2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については、詳細に記入願います。

注 3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記入しても構いません。

注 4 医師の診断書等の書類は、写しで構いませんので必ず添付願います。

注 5 ※欄には記入しないでください。

※大学記入欄

VI 電算処理カードの記入要領及び記入例

1 記入要領

- (1) 電算処理カードは、次の要領で記入してください。
 - ① 「大学記入欄」には記入しないでください。
 - ② 5. 本人の状況欄の「進学」とは、大学等の卒業見込の者が該当します。
 - ③ 電算処理カードの3. 4. 5. 6. 7. 9. 10の欄の□の部分には、下記の「正しい書き方例」にならって丁寧に数字を記入してください。
 - ④ 漢字は正しく楷書で、記入してください。
- (2) 氏名の漢字は、電算処理のため、原則としてJIS第1水準及び第2水準の漢字で記入してください。

本学では学籍管理上、コンピュータで表記できない（上記JIS規格以外）漢字については、類似する漢字に置き換え、もしくはひらがな表記にて登録します。

（例）「吉岡」→「吉岡」

外国人志願者は、住民票又は旅券（パスポート）に記載されているアルファベット氏名を記入してください。
- (3) 電算処理カードは、必ず**HBのシャープペンシル（0.5mmしん）**で**濃く丁寧に**記入してください。
- (4) 間違って記入した場合は、プラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。
- (5) 電算処理カードは、絶対に折り曲げたり汚したりしないでください。

2 正しい書き方例

正しい書き方例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

個々の注意点（○印の部分は、特に注意してください。）

0	輪を大きく円にしない	0, 0	等は不可	5	縦線を突き出す	5, 5	等は不可
1	垂直にまっすぐに	/, 1	等は不可	6	線を長く輪はつなく	6, 6	等は不可
2	下の横線を真横に	2, 2	等は不可	7	カギをつけ脚は垂直に	7, 7	等は不可
3	中央を突き出す	3, 3	等は不可	8	交点をXに下の円を大きく	8, 8	等は不可
4	線は十分長く	4, 4	等は不可	9	輪はつなぎ縦線は長くのばす	9, 9	等は不可

Ⅶ 教育活動・実践履歴書の記入要領及び記入例

1 記入要領

- (1) 「教育活動・実践履歴書」は、下記を参照のうえ記入してください。
- ① これまでに行ってきた教育活動・実践の履歴を記入してください。
 - ② 教育活動・実践には、教育関連組織での活動、志願者本人が指導した児童・生徒・団体の活動、各種研究会での研究発表及び公刊・記録された論文、著書、作品などが含まれます。
 - ③ 本人の担当部分が明示されていないものであっても、共同の教育活動・実践に含まれるものは記入してください。
 - ④ **ICTを活用した教育活動や情報教育に関連する内容を必ず記入してください。**
- (2) 記入した論文、著書、研究報告、作品、レポート等は別刷又は写しを添付してください。

2 記入例

教育活動・実践の名称	活動・実践機関 単独/共同の別	年 月	教育活動・実践の概要 (1項目につき100～200字程度)
(活動等の場合)			
生徒指導担当として活動	〇〇小学校 単独	H30年4月～ H31年3月	
学年主任として活動	〇〇小学校 単独	H31年4月～ R2年3月	
〇〇指導の実践	〇〇小学校 共同	R4年 4月～12月	
〇〇合唱団指揮者として活動	〇〇合唱団 単独	R5年 4月～12月	
〇〇県〇〇協会役員として活動	〇〇県〇〇協会 単独	R7年 4月～12月	
(論文等の場合)			
「〇〇単元の教材開発について」 (実践レポート)	〇〇小学校 単著	R4年1月	
「〇〇〇論」(論文)	〇〇教育研究所 単著	R4年6月	
「〇〇〇〇研究」(著書)	〇〇〇社 共著	R5年3月	
「〇〇の指導について」 (実践レポート)	〇〇県〇〇科 教育研究会 共著	R6年9月	
〇〇(絵画)出展作品作成	〇〇作品展 単独	R7年8月	

VIII 教育学研究科（専門職学位課程）案内

1 理念と目的

本研究科は、学校教育における「理論と実践の融合」の理想を掲げ、専門的・実践的力量を備えた高度専門職業人としての教員の養成を目的としています。

具体的には、学校教育をリードする管理職及びミドルリーダー教員の養成、新しい学校づくりの有力な担い手となる新人教員の養成を行います。

2 プログラム内容

学生は、入学後に、一人一人の学習ニーズに応じて次の3つのプログラムから1つを選択し、学修を進めていきます。

(1) 学校マネジメント力開発・DX.Eプログラム（現職院生のみ対象）

学校経営と組織マネジメントに関する高度な専門的力量の修得をめざし、特色ある学校づくりをリードする人材を育成します。

(2) 授業力開発・DX.Eプログラム

教科等の指導を通して、子どもたちの確かな学力形成を保証し、同時に地域における教科等の研修リーダーとしての役割を果たすことができる高度な専門的力量を備えた人材を育成します。

(3) 特別支援教育力開発・DX.Eプログラム

特別支援学校及び特別支援学級、通級による指導、通常の学級における個に応じた指導や支援を推進し、地域における特別支援教育の理論的実践的リーダーとしての役割を果たすことのできる高度な専門的力量を備えた人材を育成します。

3 授業科目及び修了要件単位

(1) 授業科目一覧

※ 今後授業科目が変更されることがあります。

区 分	授 業 科 目	備 考
専攻共通科目	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際	必修 2 単位
	学習指導要領とカリキュラム開発	必修 2 単位
	I C Tを活用した授業づくりの理論と実践	必修 2 単位
	教育データ利活用による教科指導と評価	必修 2 単位
	教育データサイエンス実践演習	必修 1 単位
	心理教育的援助サービスの理論と実践	必修 2 単位
	通常学級における特別支援教育の実践と課題	必修 2 単位
	学校経営・学級経営の実践と課題	必修 2 単位
	いわての復興教育の実践と課題	必修 2 単位
	学校におけるA I活用とD X実践演習	必修 1 単位
専門職としての教員の在り方とその力量形成	必修 2 単位	

区 分	授 業 科 目	備 考
プログラム共通科目 〔MD A教育科目群〕	教育のデータリテラシー	選択 2 単位
	データサイエンスを活用した教育実践研究基礎論	選択 1 単位
	情報通信技術を活用した小規模学校教育	選択 1 単位
	教育行政におけるデータベース活用	選択 1 単位
	教科等指導におけるデジタルアーカイブス活用	選択 1 単位
プログラム共通科目 〔子ども支援教育科目群〕	学校教育と情報倫理・情報モラル教育	選択 1 単位
	学校における情報セキュリティ	選択 1 単位
	プログラミング教育の実践と課題	選択 2 単位
	学校カウンセリングの理論と実践	選択 2 単位
	子ども支援のための学校臨床心理学	選択 2 単位
学校マネジメント力開発・DX.Eプログラム	発達援助の理論と実践	選択 2 単位
	学校カウンセリングの技法	選択 2 単位
	学習支援のための教育心理学	選択 2 単位
	学校マネジメントの理論と実践	選択 2 単位
	学校トラブル処理の実践演習	選択 2 単位
授業力開発・DX.Eプログラム	教職員の職能成長に資する学校経営の実践と課題	選択 2 単位
	学校評価の取組と学校改善の実践演習	選択 2 単位
	国語科教育の実践と課題	選択 2 単位
	社会科教育の実践と課題	選択 2 単位
	算数・数学科教育の実践と課題	選択 2 単位
	理科教育の実践と課題	選択 2 単位
	英語科教育の実践と課題	選択 2 単位
	音楽科教育の実践と課題	選択 2 単位
	図工科・美術科教育の実践と課題	選択 2 単位
	体育・保健体育科教育の実践と課題	選択 2 単位
	家庭科教育の実践と課題	選択 2 単位
	技術科教育の実践と課題	選択 2 単位
道徳教育の実践と課題	選択 2 単位	
生活科・総合学習の実践と課題	選択 2 単位	
特別支援教育力開発・DX.Eプログラム	特別支援教育の実践と課題	選択 2 単位
	特別支援教育授業特論 A (知的)	選択 2 単位
	特別支援教育授業特論 B (肢体不自由)	選択 2 単位
	特別支援教育授業特論 C (病弱)	選択 2 単位
	特別支援心理教育アセスメント	選択 2 単位
	特別支援教育におけるキャリア教育	選択 2 単位

区 分		授 業 科 目	備 考
実 習 科 目	授業力開発・DX.Eプログラム(学卒)	授業力開発実習(幼・小) A	必修 7 単位
		授業力開発実習(中・高) A	必修 7 単位
		子ども支援力開発実習(幼・小) A	必修 3 単位
		子ども支援力開発実習(中・高) A	必修 3 単位
	学校マネジメント力開発・DX.Eプログラム 授業力開発・DX.Eプログラム(現職)	学校マネジメント力開発実習(幼・小)	必修 3 単位
		学校マネジメント力開発実習(中・高)	必修 3 単位
		授業力開発実習(幼・小) B	必修 4 単位
		授業力開発実習(中・高) B	必修 4 単位
		子ども支援力開発実習(幼・小) B	必修 3 単位
		子ども支援力開発実習(中・高) B	必修 3 単位
特別支援教育力開発・DX.Eプログラム(学卒)	特別支援教育力開発実習 A	必修 10 単位	
特別支援教育力開発・DX.Eプログラム(現職)	学校マネジメント力開発実習(幼・小)	必修 3 単位	
	学校マネジメント力開発実習(中・高)	必修 3 単位	
	特別支援教育力開発実習 B	必修 7 単位	
リ フ レ ク シ ョ ン 科 目	学校マネジメント力開発・DX.Eプログラム 授業力開発・DX.Eプログラム	教育実践リフレクションⅠ	必修 1 単位
		教育実践リフレクションⅡ	必修 1 単位
		教育実践リフレクションⅢ	必修 1 単位
		教育実践リフレクションⅣ	必修 1 単位
	特別支援教育力開発・DX.Eプログラム	特別支援教育・教育実践リフレクションⅠ	必修 1 単位
		特別支援教育・教育実践リフレクションⅡ	必修 1 単位
		特別支援教育・教育実践リフレクションⅢ	必修 1 単位
		特別支援教育・教育実践リフレクションⅣ	必修 1 単位
教育実践研究科目		教育実践研究	必修 4 単位

(2) 修了要件単位表

	専攻共通科目 (必修)	選択科目	実習科目 (選択必修)	リフレクション科目 (必修)	教育実践研究科目 (必修)	合計
		プログラム別選択				
必修	20	4	10	4	4	46
選択		4				

4 学位及び教育職員免許状

本研究科に所定の年限(標準修了年限は2年)以上在学し、上記の修了要件単位表に定める単位を修得し、かつ教育実践報告書を提出し、最終審査に合格し、修了が認められた者には、教職修士(専門職)の学位が授与されます。また、基礎となる教育職員一種免許状に応じ、所定の単位を修得することにより各専修免許状を取得できます。

Ⅸ 実習に関する留意事項について

こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）の施行により、令和8年12月25日より、こどもに対して教育・保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。実習をする学生にも性犯罪前科の有無の確認が求められる場合がありますので、留意点をお知らせします。

【実習に関する留意点】

- 事業者（実習を行う各学校）により性犯罪前科があると確認された者は、実習ができないこととなります。
- 性犯罪前科がある場合、実習ができないことにより修了要件を満たせず、修了もできなくなります。
- 本学では、上記の内容に関する同意書等の提出を求めています。

○参考

- 実習の実施計画において、こどもと一対一になることが予定されている、実習期間が長期にわたったり、頻度が高まったりするなどのことによっては、実習生がこどもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有することになると判断された場合、事業者（実習を行う各学校）が性犯罪前科の有無の確認を行う場合があります。
- 性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習をする学生本人よりこども家庭庁へ戸籍等の提出が必要となります。
- 性犯罪前科があると確認された学生は、こどもと接する実習はできません。
- 制度の詳細はこちらをご覧ください。

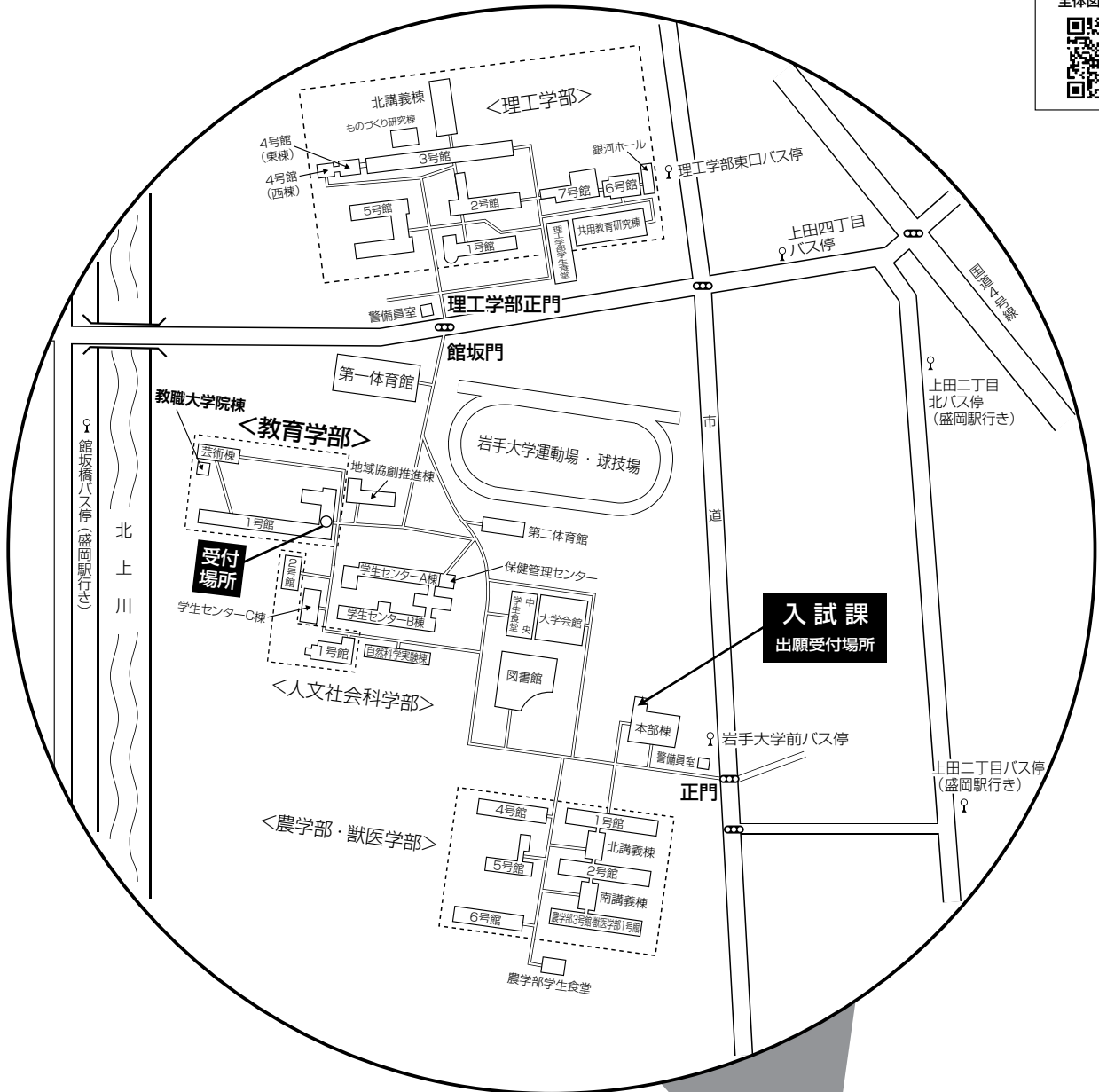
こども家庭庁HP「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」

URL：<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

※制度一般については、こども家庭庁にお問い合わせください。

試験場への案内

キャンパスマップ
全体図はこちら



盛岡駅東口バスのりば（11番のりば）から岩手県交通バスの
駅上田線「松園バスターミナル行き」に乗車し「岩手大学前」
で下車、又は駅桜台団地線「桜台団地行き」に乗車し「岩手大
学前」で下車してください。

- ※ 本町・山岸・洞清水経由のバスには乗車しないでください。
- 注1) 盛岡駅から約2km、徒歩約30分です。
- 注2) タクシー利用の場合
盛岡駅「タクシーのりば」から約10分です。
- 注3) 盛岡駅行き（帰り）のバス停については、上記の案内図を
参照してください。

